

	令和5年度行政事業レビューシート					(文部科学省)	
事業名	文化経済戦略推進事業			担当部局庁	文化庁		作成責任者
事業開始年度	令和元年度	事業終了 (予定)年度	令和4年度	担当課室	文化経済・国際課		課長 板倉 寛
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	文化芸術基本法 第29条の2			関係する 計画、通知等	成長戦略フォローアップ(令和3年6月18日閣議決定) 経済財政運営と改革の基本方針2021(令和3年6月18日閣議決定) 文化芸術推進基本計画(平成30年3月6日閣議決定) 文化経済戦略(平成29年12月27日内閣官房・文化庁)		
政策	12 文化芸術の振興			主要経費	その他の事項経費		
施策	12-4 文化芸術を推進するプラットフォームの形成						
政策体系・評価書URL	-						
事業の目的 (5行程度以内)	「文化経済戦略」で掲げられた「文化と経済の好循環」の実現に向け、文化・芸術界と経済界の対話を進めつつ、民間企業における文化芸術資源を生かした経済的価値の創出に結び付く取組の活発化を目的とする。						
現状・課題 (5行程度以内)	平成30(2018)年度の事業開始以降、主に民間企業における文化芸術へのかかわりを向上させる取組を推進してきた。しかし、事業を通して、民間企業における文化芸術への関心の高さと有益性の認識(アート思考等)や、その関心に応えられていない文化芸術団体の現状を把握したことにより、令和3(2021)年度より、文化芸術団体の運営支援の実証事業を開始した。現状は、まだ、数件の事業を継続的に実施している段階に過ぎないが、今後は、幅広い文化芸術団体が支援を通して持続的な運営を自律的に改善していけるような支援方法をスキーム化していく必要がある。						
事業概要 (5行程度以内)	平成30(2018)年度より文化と経済の好循環を目指して実施してきた本事業は、令和3(2021)年度より、文化芸術団体の自律的・持続的な運営を目指した取り組みを開始。令和3年度に実施した各種分析や課題の洗い出しを基に、令和4(2022)年度は文化芸術団体の運営改善を目指した取り組みとして、東京国立近代美術館では主にファンドレイジング事業を、国立文楽劇場では、運営改善に向けた実証事業を実施した。本事業を通じて、運営改善の一定の効果が見られたため、令和5(2023)年度からは、発展的な事業として「文化芸術の自律的運営促進事業」を新規に創設。文化芸術団体の運営支援のスキーム化に向けた展開を実施予定である。						
事業概要URL	https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunka_gyosei/bunka_keizai/92916901.html						
実施方法	直接実施、委託・請負						
補助率等	-						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
	予算の 状況	当初予算(A)	29	29	29	-	-
		補正予算(B)	-	-	-	-	
						-	
						-	
						-	
						-	
						-	
		前年度から繰越し(C)				-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-			-	
		予備費等(E)	-			-	
	計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	29	29	29	-	-	
	執行額(G)		24	24	24		
	執行率(%) =(G)/(F)		83%	83%	83%		
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]		83%	83%	83%		
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)				本事業を発展させ、令和5(2022)年度より、新規事業として「文化芸術の自律的運営促進事業」を創設。本事業は令和4(2021)年度に終了したため。		
		(目)					
	計(A)		-	-			

活動内容① (アクティビティ)		文化と経済の好循環を創出するための文化芸術組織へのコンサルティング業務									
↓											
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
		国立文化施設における事業改善の実施	文化経済戦略等を踏まえた施策の企画・立案に向けた実証事業の件数	活動実績	件	－	2	2	－	－	
				当初見込み	件	2	2	2	－	－	
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	事業を通して、文化芸術団体の事業運営の改善を目指し、ひいては、文化芸術活動に関心の高い企業が文化芸術へのかかわりを高めることにつながるため。									
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 4 年度		
		令和7(2025)年度までにメセナ活動実態調査において、企業としての価値創造をメセナ活動の目的とした企業の割合を90%以上に増加させる	社業との関連、企業としての価値創造のためメセナ活動をする企業の割合(企業としての価値創造をメセナ活動の目的とした企業数／アンケート回答企業数)	成果実績	%	74.9	69.2	71.6	71.6		
				目標値	%	－	88	90	90		
				達成度	%	－	78.6	79.6	79.6		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		メセナ活動実態調査2022(公益社団法人企業メセナ協議会) https://www.mecenat.or.jp/ja/wp-content/uploads/MecenatReport2022.pdf									
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由									
		－									
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由									
		令和4年度で本事業が終了しているため									
事業に関連する KPIが定められて いる閣議決定等	名称	－									
	URL	－									
	該当箇所	－									

[illegible]

資金の流れ
(資金の受け取り先が
何を行っているかにつ
いて補足する)
(単位：百万円)

文化庁
22百万円

委託【随意契約(企画競争)】

A. きづきアーキテクト株式会社
22百万円

諸謝金
職員旅費
委員等旅費
庁費

0.9百万円
0.3百万円
0.1百万円
0.6百万円

費目・使途
(「資金の流れ」において
ブロックごとに最大の金
額が支出されている者につ
いて記載する。費目と
使途の双方で実情が分
かるように記載)

A.			B.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	運営改善にかかるコンサルタント業務経費	11			
再委託費	事業実施に当たって再委託が必要な経費	5			
雑役務費	事業実施にあたって外部に役務を発注した経費	3			
一般管理費	一般管理費	2			
消費税相当額	人件費等非課税部分にかかる消費税相当額	1			
その他	旅費その他経費				
計		22	計		

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

